令和3年度



学校評価 (自己評価)

結果報告書



百日草「はなよめ」浴衣の帯結びフォトコンテスト 三位入賞 作品

TOYO

Barber Beauty Professional Training College

一般社団法人 東予理容美容専門学校

令和3年度 自己評価結果

1 学校の教育目標 <校訓>

<校訓> ~技を競って 心を磨く~

- 理容・美容の知識・技術の基礎的・基本的事項を身に付け、職業実践的な技術を磨くとともに心を磨く 教育活動を創造する。
- 地域に開かれた学校づくりを推進し、豊かに人と関わり、社会に貢献できる人材を育成する。

2 自己評価の項目

(1) 学校の教育目標

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1
a 学校の教育目標に沿って、教育活動が展開されているか。	4 3 2 1
b 社会に貢献できる人材育成に向けてビジョンをもって取り組んでいるか。	4 3 2 1
c 学生・保護者等に学校の教育目標を周知しているか。	4 (3) 2 1
d 学校の教育目標は時代のニーズに合っているか。	4 3 2 1

<現状>

令和3年度は、新型コロナウイルスのまん延により、様々な地域行事も規模縮小や中止を余儀なくされるなど、昨年に引き続き教育活動に制約の多い年であった。愛媛県では8月20日から9月12日までを「まん延防止等重点措置」適用期間、9月13日から9月26日までが「感染対策期」となり、学校でも感染拡大防止に向けて全力を注ぎ取り組んだ。そのため、毎年の全国理容美容学生技術大会も昨年に引き続き中止となり、四国地区理容美容学生技術大会が開催された。本校では、会場が県外であったこともあり、新型コロナウイルス感染を危惧する家庭も多く、参加を希望する生徒がいなかった。そのため、ネイルアート部門、ヘアデザイン画部門への作品を提出する形での参加となった。表彰では、県からこれまでの学校の取組が称され優良青少年知事表彰を授与することができた。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、校舎入口で検温、手指消毒ができるように消毒器付き検温カメラを設置した。また、日々の教職員、生徒一人一人の健康観察票にも家族の健康状況を記入できる欄を設け、家庭内感染が広がる中、校内での感染拡大を防ぐため尽力した。また、一人一人の座席間を2メートル開けてディスタンスを確保するとともに、飲食時には黙食の徹底、窓を全開しての換気などを徹底し、感染拡大防止に全力を注いだ。新型コロナウイルス抗原検査キットも購入したり、文部科学省からも配布を受けたりすることで、急な体調不良により、新型コロナウイルスの感染が疑われる場合、速やかに検査キットを活用して校内での感染拡大を防ぐことができるよう対処した。

<今後の課題>

今後、新型コロナウイルスの感染がおさまって、安心・安全な社会生活が取り戻せる見通しがつくまでは、やはり油断せずに現在の感染対策を講じていかねばならないだろう。新型コロナウイルスの感染状況、社会状況を見極めながら、校内の学校行事や対外的な校外行事については、その都度、適切に判断し実施していきたい。今後も地域に貢献できる人材の育成に向けて「地域に開かれた学校」を目指し尽力していきたい。

(2) 学校運営について

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1
a 運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	4 3 2 1
b 学校運営について理事会や定期総会で理解・周知を図っているか。	4 (3) 2 1
c 教務・財務などの組織は適切に機能しているか。	4 3 2 1
d 教育活動に対する情報公開は適切におこなわれているか。	4 3 2 1
e 情報システム化による業務の効率化が図られているか。	4 3 2 1
f 人事・給与等に関する規定等は整備されているか。	4 (3) 2 1

<現状>

今年度、初めて優良青少年団体知事表彰を受賞することができた。これまで「地域と共に歩む学校」づくりを目指して取り組んできた本校の運営方針が、県レベルで認められたと言えよう。学校運営については、理事会や定期総会で関係資料を配布するとともに、丁寧に詳しい説明が行われ、周知が図られている。教務や財務などの運営についても、教職員間での「報告・連絡・相談」を密に図り、税理士や社会保険労務士など専門家の意見も聴取しながら、円滑に進めることができている。特に、今年度は情報システム分野においてセキュリティーを強化したり、通信速度をアップさせるなど対策を講じた。また、1、2年生の教室にWiーFi環境も整備した。職員室内の通信速度が上がったことにより業務の効率化も図られてきている。インスタグラムやホームページなどの情報公開については、教育活動を随時アップし、積極的な情報発信に努めている。インスタグラムのフォロワー数も毎年増加してきているので、今後もこまめに情報発信に努め、学校の教育活動を広く周知できるよう積み重ねていきたい。

<今後の課題>

今年度は、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症防止のため、新居浜市の花火大会は中止、あかがねマラソン大会でのボランティア活動は見送りとなり、対外的な規模の大きい社会貢献活動はできなかったが、また、新居浜市の行事が通常通り開催された際には、地域に開かれた学校として、豊かに人と関わり、社会に進んで貢献しようとする心を育み、社会に役に立つ喜びを感じられる人材を育てていきたい。

(3) 教育活動

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1
a 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 3 2 1
b 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 3 2 1
c 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 3 2 1
d キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 3 2 1
e 実践的な職業教育(産学連携による職業体験・インターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4 3 2 1
f 職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 3 2 1
g 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確化になっているか	4 3 2 1
h 教科課目の目標を達成できる要件を備えた教員を確保しているか	4 3 2 1
i 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や資質向上の ための取組が行われているか	4 3 2 1

<現状>

教育課程の編成・実施においては、コロナ禍であるため感染状況や県の感染対策方針に沿いながら、学校行事を精選し、その都度判断しながら適切に実施している。今年度も福祉理美容師の資格取得、企業と連携したOPIベーシックネイル課程修了、日本ネイリスト3級技能検定指導、まつ毛エクステンションや着付けの指導など、専門的・職業実践的な資格や技能を身に付けることができるよう体制整備に努めている。特に、まつ毛エクステンションは、若者世代にも人気があり時代のニーズであり、生徒の中にはまつ毛エクステンションやネイリングの技術を学びたいという思いで、入学してくる生徒も多い。また、全国規模のフォトコンテストにも各学年とも積極的に応募し入賞するなど成果を上げている。特に、今年度「百日草はなよめ」の浴衣の帯結びフォトコンテストでは、160作品中3位、6位に入賞するなど素晴らしい成績を上げた。また、修得者コースを開設して2年目となり、美容修得者が3人、理容修得者が1人在籍している。昨年度、理容師美容師国家試験の合格率も100%であり、修得者コースの教育課程も適切に実施されている。今年で2年目の高等教育の無償化等に伴う授業料や入学金等の減免措置については、9人の生徒が給付型奨学生となっている。また、中卒者で高等学校等就学支援金の対象になっている生徒も3人いる。現在50%の生徒が奨学金給付の対象になっており、事務処理は毎年、大変ではあるが、その都度、経理主任と校長で問題解決しながら取り組んでいる。

学修発表会については、これまで「レーイグラッツェふじ」と連携し「ミス花嫁コンテスト」に全校で参加してきた。今年度も8月中旬には衣装合わせやヘアデザインなども計画的に済ませていたが、市内にも新型コロナ感染者が急増している状況であったため、今年度は自粛せざるを得なかった。

<今後の課題>

本校の教員がABEまつ毛エクステンション認定講師として授業を実施し、これまでの福祉理美容師の取得に加えて、「ABE Eyelash extensions Assistant director」認定証も全員取得できるような基盤も整備されてきている。また、今年度は東京都の教員資格認定講習会「美容技術理論・美容実習」が開催されたため自校からも教員が参加し、新たに教員資格を取得できた。そのため、若手教員の育成につながり、教育課程編成においても弾力的に授業が組めるようになった。「メイクアップ」指導者養成研修会については、今年度の開催は見送られたため受講はかなわなかったが、次回、開催される際には自校からも教員が参加したい。今後も新型コロナウイルス感染症の広がりや情勢を見極めながら、教員資格認定講習会やメイクアップ指導者養成講習会に教員が参加し、教員の資質向上に努め、学校の特色を一層打ち出せるよう取り組んでいきたい。また、今後もレーイグラッツェふじと連携を図りながら、学修発表会を開催していくようにしたい。

(4) 学修成果

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1
a 就職率の向上が図られているか	4 3 2 1
b 資格取得率の向上が図られているか	4 3 2 1
c 退学率の低減が図られているか	4 3 2 1
d 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 3 2 1

<現状>

就職率の向上に関しては、昨年度と同様に実務実習店舗と連携して、実習の成績評価や状況を的確に把握し、就職活動への意欲付けを図ったり、企業等の求人案内をいつでも誰でもが閲覧できるように職員室に備え付けたり、就職先が決定するまで個別に相談に応じるなど、一人一人へのサポートに努めている。今年度も生徒が実習した店舗から卒業しても継続してきてほしいということで、内定が早々と決定する者が多かった。資格取得率の向上に関しては、本校教員が国家試験実技試験の審査員や主任等を務めており、実技でのチェック項目に関して細かく指導し、模擬試験を事前に何回も実施するなど取り組んでいる。指導教員が実技面での指導事項や重点事項を、自ら研修会に参加して理解し、生徒に具体的に指導できる体制が整っている。また、国家試験資格取得とともに、他にも福祉理美容師の資格、ABEまつ毛エクステンション検定の資格、OPIベーシックネイル課程修了証等を全員が卒業時には取得できる体制が整備されてきたので、トータルビューティとしての学校の特色が大きく広がってきている。

<今後の課題>

国家試験においては、令和3年度8月・9月の理容師・美容師国家試験については90%の合格率を挙げることができている。自校では、国家試験に不合格であった者についても、個別に次回の国家試験に向けて、昼間課程の授業に参加できるようアフターサポートをきめ細やかに行っており、今後も支援体制を継続していきたい。

今年度も通信課程の生徒にリビッツステーションの活用を何度も呼びかけたり、授業中に実際に活用した 授業を組み立てたりするなど、自主学修での活用を意識させた。そのため活用率が毎回、全国でも10位以内 に入るほど高くなってきている。通信課程生徒がリビッツステーションを活用して学修に取り組む習慣が形 成されつつあるので、今後もより一層、筆記試験対策としてリビッツステーションの活用を促し、日々の学 修に取り組ませたい。

(5) 学生支援

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1
a 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 3 2 1
b 学生相談に関する体制は整備されているか	4 3 2 1
c 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 3 2 1
d 学生の学内生活環境への支援は行われているか	4 (3) 2 1
e 保護者と適切に連携しているか	4 3 2 1
f 卒業生への支援体制はあるか	4 3 2 1

<現状>

高等教育の修学支援新制度については毎年申請し、国に認可されるよう努めており、母子家庭や経済的に配慮が必要な生徒には、個別に相談に応じてきめ細やかに対応している。給付奨学金の支援区分が全額免除の場合、自校の入学金や授業料については全額免除対象の範囲となっている。また、生徒が心の問題を抱えて登校しずらい状況である場合には、生徒と個別に面談したり、SNSで連絡を取り合ったりして悩みを聴いたりしている。生徒からの個別の悩み相談に関しては、その都度、学級担任や校長、教職員の誰でもが関わりながら、気軽に相談しやすい体制が整備されており、本校の特色でもある少人数指導で家庭的な温かい雰囲気が醸成されている。保護者の相談に関しても、その思いに寄り添って適切に相談活動が行われており、保護者との望ましい関係づくりに努めている。授業料の納入に関しては、一括払いにせず、月ごとに分割するなど、保護者の負担軽減に努めている。経済的に苦しい家庭については、個別に十分話を聞きながら丁寧な対応に努めている。このようなきめ細やかな対応ができるのも、自校ならではの良さだと言える。

<今後の課題>

自校は少人数であり家庭的な学校であるので、一人一人に声をかけることができ、生徒の体調なども早く知ることができる。そのため、心身に不安や悩みを抱えていたり、日常生活が不規則になっている場合など、個別に生徒と面談を実施して卒業まで修学できるようフォローしていくことが大切である。また、修学支援新制度の対象生徒が継続して支援を受けるためには、適格認定されることが必須であるので、単位数や出席率、学修成績などに問題がないか日頃から注意を払い、個別に指導を行っていくことも必要である。

(6) 教育環境

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1
a 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 3 2 1
b 防災に対する体制は整備されているか	4 3 2 1

<現状と今後の課題>

施設、設備面では、旧校舎については早56年が経過しているが、予算的に難しい面があり、耐震化されていない。今年度は生徒の机も全て一新されたものになり、教室や講堂などのWi-Fi環境等も整備されるなど、少しずつ施設・設備も改善されてきている。校内にいる間は無料で生徒が通信機器を使用できるようになったことで、通信料金の生徒の経済的な負担も減り、学校生活が改善されてきた。また、掲示板には、新たに今年度、生徒がフォトコンテストに応募した作品や、四国地区理容美容学生技術大会での優秀作品を掲示し教育的な環境整備に努めたことで、生徒一人一人が自分の頑張りを友達やその他、大勢の人にも認めてもらえたり、自尊感情を高めたりする良い機会となっている。舗装されていなかった部分の駐車場についても、これまで雑草が生えたり砂利がはねたりするなど、駐車が大変であったが、舗装して良い環境に改善された。

今後も予算を勘案しながら計画的に施設・設備を新しいものへ改善していくことが必要となる。防災体制の整備については、今後、発生するであろう南海トラフ巨大地震発生に備えて、今年度、生徒一人一人に非常持ち出し袋やヘルメット等を整備した。新型コロナの感染状況がおさまった後には、新居浜市の防災センターを学校で見学して生徒の防災意識を高めていきたい。新居浜市のハザードマップによると、自校周辺地域は南海トラフ巨大地震が発生した際には、浸水被害が出ることが予想されるので、重要な書類については今年度、浸水の恐れのない2階へ移動をした。災害時には、新居浜市民文化センター南方面へ落下物や倒壊物を避けながら避難し、建物倒壊、浸水被害などから大切な命を守る行動をとれるよう防災訓練の在り方も見直していきたい。

(7) 学生の受入れ募集

≣亚	/ III	т古	5 F	よくできている…4 できている…3	
市	価	垬	Ħ		あまりできていない…2 できていない…1

a 学生募集活動は、適正に行われているか	4 3 2 1
b 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 3 2 1
c 学納金は妥当なものとなっているか	4 3 2 1

<現状と今後の課題>

昨年度末より、文部科学省開設の専門学校サイト「知る専」などに、学校の活動内容を公開し、理容美容学校の専修学校としての活動を全国に周知できるようにした。また、毎年、今治市、四国中央市、新居浜市の各高校を回って、学校の教育活動の取組を説明している。また、今年度も新居浜市の「あすなろ教室」にも行き、自校に高等課程が設置されていることを説明した。また、修得者コースが設置されていること、高等教育の無償化等の認可校になっていること、ABEまつ毛エクステンション認定校であることなどを、インスタグラムやホームページ、募集要項等に掲載して、広く周知していただけるよう取り組んでいる。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため、高等学校の進学ガイダンスについては中止になった高等学校もあった。進学ガイダンスが開催された高等学校では、美容に関心のある生徒に自校の学校の特色などを詳しく説明できたので、次年度の生徒募集につながっている。学納金については、日本理容美容教育センターの通信教育費が令和5年度より値上げされることに伴い、これまで消費税値上げ前の授業料となっていた修得者コースの授業料を、今回見直すこととなった。

高齢化社会・少子化の時代を迎え、地域に根差した「開かれた学校づくり」をより一層推進してきたことが、自校についての周知を深め、生徒数の確保につながっていく。そのため、地域に貢献できる学校として、地域貢献ボランティア活動にも継続して力を注いでいく。将来、10年先、小学生が高校生となった時、本校で活動したことを覚えていたり、親しみを感じたりしたことが布石となり、生徒の募集・確保につながっていくと考える。今から10年後の地域の学生の確保に向けて、幼児や小学生等を対象にした地域ボランティア活動、市のイベントでの社会貢献ボランティア活動への参加は、地道な活動ではあるが継続して行っていかなければならない。今後も生徒数の確保に向けて、より一層の努力が求められる。

(8) 財務

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1
a 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 3 2 1
b 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 (3) 2 1
c 財務について会計監査が適正に行われているか	4 3 2 1
d 財務情報公開の体制整備はできているか	4 (3) 2 1

<現状と今後の課題>

今年度、昼間課程の生徒数は24人、通信課程においては40名と、昨年度に引き続き財務基盤は安定していると言える。毎年、財務状況は生徒数に大きく影響されるため、今後も継続して生徒数を確保するなど、長期的な財務基盤の安定に努めなければならない。令和3年度の予算・収支計画については、税理士や社会労務士などの専門家にも意見を求めたり、前年度の財務状況を勘案したりして、適切な予算・収支計画を立案しているため、黒字決算であった。会計監査も毎年、理事会の監事により適切に行われている。財務情報の公開に関しては、職員室備付簿として、生徒だけでなく一般の方からも問い合わせがあった場合は、送付できるようにしている。

(9) 法令等の遵守

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1
a 法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4 3 2 1
b 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 3 2 1
c 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4 3 2 1
d 自己評価結果を公開しているか	4 3 2 1

<現状と今後の課題>

個人情報に関しては、すべてのパソコンにセキュリティーソフトを入れて、外部からの侵入やウイルス対策に備えたり、今年度は通信機器のセキュリティー対策を強化したりするなど、個人情報漏洩の対策をとった。また、自校のホームページのアドレスをSSL化(HTTPS)して、より安全なWEBサイトに更新した。学校評価に関しては、PDCAサイクルに基づく自己評価を実施しており、学校関係者評価委員会を開催して外部人材の意見も参考に、より望ましい適切な学校運営に努めている。また、自己評価結果や学校関係者評価委員会の結果を、ホームページ等で公開したり、保護者会で説明したりするなど、情報公開や法令等の遵守に努めている。今後も学校評価を確実に実施することを通して、より一層の学校運営の改善を図っていきたい。

(10) 社会貢献・地域貢献

評 価 項 目	よくできている…4 できている…3 あまりできていない…2 できていない…1
a 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4 3 2 1
b 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 3 2 1

4 (3)

2 1

<現状と今後の課題>

今年度は、新型コロナウイルス感染症防止のため、小規模の社会貢献ボランティア活動に努めた。地域の 惣開公民館活動の子供たちのための夏期講座では、1年生が参加して小学生対象にネイリング、ハンドペイ ントなど、修得した技術を生かして施術した。今年度は昨年度に引き続き2回目であったが、大変人気のある 講座で、参加を希望する小学生が多かったため抽選で選んだということであった。新型コロナウイルス感染 防止にも十分配慮して、子供たちにとっては楽しく充実した活動内容であった。このような社会貢献ボラン ティア活動は、学生にとっても様々な人々と触れ合う場であり、人間力を培う良い機会でもある。今年度、 自校のこれまでの地域貢献ボランティア活動が認められ、優良青少年団体知事表彰を授賞できたことは誠に 誉であり、今後の地域貢献ボランティアへとつながっていくだろう。今後もより一層、地域に開かれた学校 づくりに尽力していきたい。

市の花火大会着付け・ヘアメイクのボランティア活動や市内マラソン大会については、前年度と同様、中止となり、活動が制限され自粛となり残念であった。生徒が自分たちの修得した美容・理容技術や知識を生かし、様々な人々と触れ合い、自らの心を磨きながら、社会に役立つ喜びを体験するとともに、ボランティア精神を育み、社会に貢献しようとする人間の育成を図ることは、学校の教育目標の大きな柱でもある。このような活動は、地域のたくさんの方々に本校の活動を理解していただく機会となり、地域社会貢献の意義を体験的に学ぶ機会となっている。オープンキャンパスについては、今年度、新型コロナ感染症防止のため、個別に随時受付をし、一人一人に丁寧に時間をとり対応した。

<今後の課題>

生徒一人一人が地域社会の一員としての自覚をもち、明るい地域づくりに向けて、自ら主体的に地域貢献活動に参加できるよう、今後も継続して活動の機会を設けていくことが必要である。また、生徒一人一人のボランティア精神を高め、活動の幅を広げていくことも大切である。地域の未来の理容業・美容業を担う活躍できる若者の人材育成に向けて、地域社会、他の関係機関とより一層連携して進めていくことが必要だろう。